

川と人

Vol.30
2007

特集

川に舟運が蘇る 舟運を活かしたまちづくり



名に似合わぬ武勇

【アメマス(エソイワナ)】サケ科サケ亜科イワナ属

白い斑点が雨粒のように見えるから雨鱒—

なんとも味のある名は、降海型と湖に棲むものの呼称で、一生を川で過ごす陸封型はエソイワナと呼ばれます。白い斑点が瞳孔より大きいものをアメマス、小さなものをエソイワナと見分けることも。

アメマスは、日本産サケ科の中で最高のジャンプ力を誇り、サケやサクラマスの稚魚を捕食するため、漁業者から害魚として扱われることも。摩周湖ではシカを丸呑みし、船を転覆させる巨体が棲むという伝説も残る、詩的な名前とはうらはらな武勇です。

そんなアメマスは秋に産卵し、翌春に孵化。2年程川で過ごし、春に稚魚の多くが銀毛化して海へ降ります。春から夏に川を遡上し、数年にわたって海と川を行き来しながら産卵を繰り返す。産卵期にはシンボルの白い斑点がオレンジになるものも。

平成16年に映画化された「雨鱒の川」は、夕張市・栗山町・当別町・美瑛町等でロケされ、アメマスが物語の重要な鍵を握っています。川の名役者ですね。

監修 北海道開発局
発行 (財)石狩川振興財団 〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目5番地 Tel (011)242-2242
平成19年3月 定価1,300円(消費税・送料込み)

ホームページアドレス <http://www.ishikari.or.jp/>

表紙PHOTO:調査船天舟丸と船着場
(「川の博物館」前、茨戸川・石狩市)



川に舟運が蘇る 舟運を活かしたまちづくり

特集

北海道開拓の大動脈だった石狩川の舟運。川には雑穀船や外輪船が行き交い、河岸は倉庫や商店が軒を並べ、人々は忙しく往来する。水辺は賑わいにあふれ、経済や文化を開花させた舟運。そして今、ふたたび舟運が注目されつつあります。石狩川流域では、弁天丸にEボート、カヌーに渡し船など、多彩な船による取り組みが、官民連携で進められています。「現代の舟運」は、かつて舟運が育んだ歴史や文化を見直し、人と人をつなぎ、まちに輝きを与える、大きな夢を乗せて出航します。

石狩川の舟運の流れ

明治2年	開拓使の設置	丸木舟での生活物資の運搬
明治14年	樺戸集治監開庁	監獄汽船運航
明治15年	江別駅開設	外輪船の運航(鉄道と舟運による運搬)
明治35年	石狩川を命令航路指定	民間会社による定期航路運航
渡し船	明治10年～昭和57年頃	最も多い頃で約40箇所の渡船場

*美浦渡船は現在、石狩川で唯一残る渡船(石狩川をはさんだ浦臼町と美唄市)

(参考資料) 財団法人 石狩川振興財団「川の道 石狩川の舟運物語」



美瑛川(美瑛町)

CONTENTS

特集 川に舟運が蘇る 舟運を活かしたまちづくり

- 「石狩・茨戸めぐり 水上散歩」(石狩市) 3
- 調査船・弁天丸を用いた体験学習(石狩市・江別市) 4
- 千歳川観光舟運の社会実験(千歳川流域) 5
- いしかりガイドボランティアの会 会長 瀬野 一郎さん 6
- 川の博物館 4月3日リニューアルオープン! 6

石狩川の歴史 7・8
北海道開拓の原動力・石狩川治水の象徴
土木遺産 生振捷水路

流域の現在 9
【美瑛町】白金温泉と十勝岳流路工

川と人カレンダー 10

世界河紀行 11・12
スコットランド紀行
～ネッシーを探索に行く～
在エディンバラ総領事館
領事 堀田 伸之氏

北海道開発局
第6回 北海道・川の日ワークショップ in旭川 13・14

北海道開発局 石狩川開発建設部
地域協働プロジェクトの推進 15・16

北海道開発局 旭川開発建設部
大雪山連峰に忠別湖が誕生 17・18

北海道
「川づくりのための河畔林ガイド」の発刊(前編)
北海道の川づくりに役立つ―河畔林の機能と保全の手引き 19・20

旭川市
北彩都あさひかわ～水と緑あふれる都心のオアシス～ 21

石狩川振興財団 活動報告 22
■石狩川あおぞら大学 ～石狩川市民活動連携ワークショップ～
■第6回 北海道・川の日ワークショップ in 旭川 参加者募集!
■第6期 北海道総合開発計画の点検と新たな計画の在り方
中間とりまとめに関するパブリックコメントの募集の結果について
■編集後記

◆弁天丸から川を見る
自然を学ぶために一番有効なのは、自然のふところに飛び込むことです。

北海道開発局石狩川開発建設部は、子供達に川への関心を深め大切さを学んでもらうため、保有する調査船・弁天丸を使って「川の中から川を見る」という、スケールの大きな体験学習を行っています。平成16年にはじまった体験学習は、地域の関係者や学校の協力を得、内容も充実。昨年は、「川の博物館」を出発して石狩川と茨戸川を運航する「石狩・茨戸地区」、そして江別河川防災ステーションを出発して石狩川と千歳川を運航する「江別地区」を実施場所に、地域の学校の応募に応じて行われています。これまでに、35校1098名が参加しました。



弁天丸船内での学習。



この赤い実はハマナスかな？食べられるのかな？

◆体験学習から地域振興へ
弁天丸体験学習の特長は、「石狩・茨戸地区」ならば水上から水生植物や河畔林を観察し、陸上でじかに触れるという、水陸両方の視点を取り入れる点です。また、当日までに学校で、郷土の暮らしや自然環境などを学習し、効果を高めます。

子供達からは、素直な感動とともに、子供ならではの発見がたくさんあって、予想を越えた手応えを得ています。それがまた、面白い体験プログラムづくりに結びつきます。

今後は取り組みを通じて、地域の貴重な財産である石狩川を流域の方々が再認識し、流域全体で盛り上げていく、体験学習による地域振興への発展が期待されます。

◆体験学習から地域振興へ

舟運

調査船・弁天丸を用いた体験学習による環境教育



石狩川最下流に架かる北海道最長の石狩河口橋。「石狩川はデッカいなあ」

調査船・弁天丸を用いた体験学習 昨年度概要

- 〈石狩・茨戸地区〉 ■学習テーマ 船上学習1 茨戸川の自然を観察しよう(ルートA,C)
船上学習2 茨戸川と石狩川のちがいを観察しよう(ルートB)
- 運航ルート ルートA 川の博物館⇨送電線 往復(茨戸川内)
ルートB 川の博物館⇨石狩河口橋 往復(茨戸川および石狩川)
ルートC 花畔大橋⇨志美運河入口 往復(茨戸川内)
- 〈江別地区〉 ■学習テーマ 石狩川と暮らしのかかわりについて考えよう
■運航ルート 千歳川および石狩川(江別河川防災ステーション⇨新石狩大橋 往復)

本年度の参加校募集!

※これまでの弁天丸体験学習の内容、平成19年度のプログラムと応募方法は、石狩川開発建設部ホームページをご覧ください。
<http://www.is.hkd.mlit.go.jp/>



背後には花畔大橋。

舟運による観光振興 石狩川体験ツアー

◆舟運ツアーの実現へ

川を航路とする舟運は、観光の魅力を持っています。石狩川流域では、河川空間と流域の文化・歴史・人材などを活かした新しいツーリズムスタイルを目指す、石狩川流域振興構想が検討されています。石狩・茨戸地区をモデル地域に、平成17年は関係者が実際に調査船・弁天丸に乗って視察。地域で振興策を具体的に進める「石狩・茨戸地区流域ワーキング会議」が発足しました。ワーキング会議は、地元の農業・漁業・観光業者、市民団体等で構成された連携推進のための体制づくりです。

これまでの検討をもとに、はじめての実践的な取り組みとなる、一般参加の有料ツアーが昨年8月に行われました。

◆地域連携で魅力発信

まず参加者は2艘のプレジャーボートに乗って、茨戸川と石狩川をゆったりクルージング。陸上では歴史を学び、郷土料理の石狩鍋を味わいました。船をメインに、バスと散策を組み合わせたモデルツアーは、地元企業や市民の連携で行われました。なかでも大活躍だったのは、「いしかりガイドボ



いしかり砂丘の風資料館で、学芸員から興味深い話を聞く。

「石狩・茨戸めぐり 水上散歩」

- 平成18年8月27日 9:00~16:45
○20名
- ▲コース 茨戸川(水上)⇨川の博物館(自然散策・ショッピング)
⇨志美運河(水上)⇨石狩川(水上)⇨石狩市本町(歴史散策・食事)
⇨ハマナスの丘公園(自然散策)

体験ツアーは天塩川、釧路川でも行われています。

※詳しい内容は(財)石狩川振興財団ホームページをご覧ください。
<http://www.ishikari.or.jp/>





「ガイドの依頼は年々増え続け、昨年は観光客約1800人の方々を、石狩の歴史を中心にご案内しました。団体では小学生や町内会、学校の先生の研修もありましたね。しかしながら、ガイド需要に対する人材の不足が現状で、石狩市はじめ関係機関の後押しが必要です。具体的にはガイドの養成講座を開いて育成の場をつくる。わたしは30年程前から石狩市に住み、石狩の事を知ろうと参加した市民講座が、ガイドをはじめめるきっかけになりました。」

「ガイドの依頼は年々増え続け、昨年は観光客約1800人の方々を、石狩の歴史を中心にご案内しました。団体では小学生や町内会、学校の先生の研修もありましたね。しかしながら、ガイド需要に対する人材の不足が現状で、石狩市はじめ関係機関の後押しが必要です。具体的にはガイドの養成講座を開いて育成の場をつくる。わたしは30年程前から石狩市に住み、石狩の事を知ろうと参加した市民講座が、ガイドをはじめめるきっかけになりました。」



川と陸の両方から石狩の魅力案内する瀬野会長。

【いしかりガイドボランティア】

○範囲/旧石狩市内全域 ○4月29日～11月3日(それ以外も可)(土日祝日)弁天歴史公園内運上屋棟に常駐(平日)団体申込にはできるかぎり対応 ○(社)石狩観光協会 石狩市親船町107 TEL 0133-62-4611



弁天丸の発着所 川の博物館 4月3日 リニューアルオープン!

弁天丸の発着所「川の博物館」は、石狩川治水の祖・岡崎文吉考案の岡崎式単床ブロックなどが展示され、石狩川の治水について学ぶことができます。改修工事のため休館していましたが、いよいよこの春、リニューアルオープン! だれもが利用しやすいよう、エレベーターを設置しトイレはバリアフリーに。

オープンスペースも設け、茨戸川や生振をフィールドに活動メニューを発信します。

川の博物館 石狩市新港南1丁目2・8・2・4

INTERVIEW

舟運のためのまちづくり

地域の人に、地域を知る機会を増やす

「石狩・茨戸めぐり水上散歩」ガイドいしかりガイドボランティアの会長 瀬野 一郎さん

「ガイドの依頼は年々増え続け、昨年は観光客約1800人の方々を、石狩の歴史を中心にご案内しました。団体では小学生や町内会、学校の先生の研修もありましたね。しかしながら、ガイド需要に対する人材の不足が現状で、石狩市はじめ関係機関の後押しが必要です。具体的にはガイドの養成講座を開いて育成の場をつくる。わたしは30年程前から石狩市に住み、石狩の事を知ろうと参加した市民講座が、ガイドをはじめめるきっかけになりました。」



七輪を持ち込み、特産グルメを堪能。



イカダを屋形船風に改造し、動力船で曳いた。

千歳川観光舟運の基本ルート(想定)

- 千歳市根志越橋下流右岸 → 石狩川合流点・江別河川防災ステーション
- 移動距離/およそ39.6km
- 所要時間/約3時間

〈問い合わせ先〉

千歳川観光舟運社会実験実行委員会 (NPO法人 水環境北海道内) TEL.0123-32-3863



まちが輝く舟運あれこれ美浦渡船

深川市から砂川オアシスパークを経由して月形町へ、手作りイカダ等で石狩川を下る「石狩川下覧権」。今年で12回を数え、流域連携の象徴イベントに定着しています。また、水辺交流で、流域環境を見直す機会を創る道具として考案された10人乗り組立式Eボート。大会が北海道各地で持ち回り開催されたり、イベントに使用されるなど地域振興に、一役買っています。

浦臼町と美唄市を結ぶ、石狩川唯一の「美浦渡船」



流域を変える舟運構想

千歳川観光舟運の社会実験

◇夢の千歳川観光航路

そして今、壮大な舟運構想が動き出しています。

千歳川は新千歳空港から札幌への移動ルートとほぼ近いコースを流れ、観光舟運は夏の涼しさ、グルメ、大自然を一挙に提供できる新しい北海道観光と、地域振興の可能性を秘めています。これまで実行委員会による検討が進められ、昨年9月と10月、実現に向けた社会実験が行われました。

流域住民等をモニターに、江別河川防災ステーションにて屋形船風に改造したヤカダに乗船。千歳川の自然をガイド付きで観察しつつ、ジンギスカンなど特産品も楽しみました。今年には道外観光客をモニターに実施予定で、いよいよ定期運航に向けたツメに入ります。



生振香取神社祭礼(「石狩市21世紀に伝える写真集」石狩市教育委員会発行)



北海道開拓の原動力・石狩川治水の象徴 土木遺産 生振捷水路

明治31年、未曾有の大洪水。
絶望の中、開拓者達は原始河川・石狩川の
抜本的な治水を切望した。
わが国を代表する、
世紀の大工事はこうしてはじまったー

2010年 石狩川治水100周年

新天地を 奪った濁流

明治31年当時、石狩川流域には毎年数万人の移住者が押し寄せ、北海道人口の半分を占めるほどだった。鉄道が岩見沢から美唄、砂川、空知太へと延び、旭川まで達し、いよいよ本格的な開拓に拍車がかかる頃。人口の急増で、開拓地は洪水氾濫区域にまで広がっていた。

アイヌ語で「イ・シカラ・ベツ」、非常に曲がりくねった川を意味する石狩川は、春の雪融けから毎月のように水があふれたが、同年9月、これまで経験したことのない濁流が希望に満ちた新天地を襲った。石狩川流域で死者112人、被害家屋18、600戸、あふれた水は幅約40km、延長約100kmの、琵琶湖ふたつ分の大きさの泥海をつくり出した。

この大洪水により土地を離れる者が相次ぎ、北海道開拓は決定的な打撃を受けた。大洪水の翌月には、北海道庁内に「北海道治水調査会」が設立され、石狩川の治水計画の調査がはじまった。
人々は「石狩川治水期成会」を結成、石狩川治水の着手を訴えた。

最初で最大の 生振捷水路

北海道治水調査会は、石狩川の三角測量、河川縦横断面測量、氾濫原の地形測量などの調査を行った。そして10年にもおよぶ調査に基づいた、

路の工事が開始された。

石狩川をはじめ道内の大川では、流域に広大な泥炭地や湿地帯が広がっているため、居住地や生産性の高い農耕地にするためには、河川水位を下げ、泥湿地帯の地下水位を下げる必要があった。

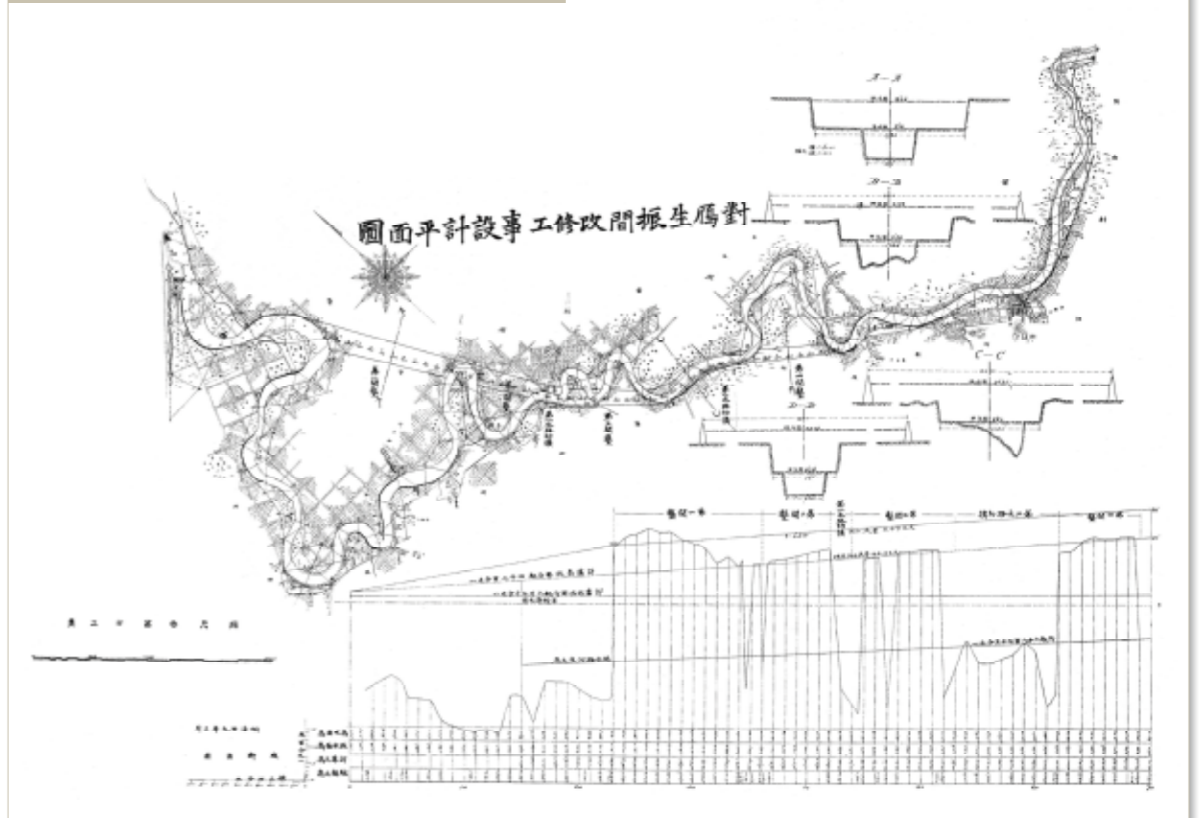
生振捷水路は、他の捷水路と併せ、石狩川の湾曲蛇行した部分をカットして直線的な流れに修正するもので、延長3、655m、堤防間隔910m、平均切深12m、河床勾配1/6、000という石狩川最大の規模だ。これにより石狩川は約14・6km短縮され、石狩川的全29捷水路では河道が約58・1kmも短くなる。生振捷水路はその25%にあたる。

大工事に 挑んだ人々

工事には浚渫船や掘削機(エキスカベータ)、機関車など大規模な機械が投入された。機械の補修と資材の製造・加工のための治水工場も作られた。工事関係者は多い時で2、000人余りにも上り、宿舎を中心に「治水市街」と呼ばれる街ができたほどだった。北海道初の大規模工事のため、試行錯誤の手探りで進められた。トラブルにも見舞われ、犠牲者も出た。

大正11年、工事の安全を祈願するため、新水路右岸に河川事業と因縁の深い香取神社を建立、殉職者のための慰霊碑も境内に建てられた(の

對雁生振間改修工事設計平面図(「石狩川治水計画調査報文」より)



技師・岡崎文吉の治水計画「石狩川治水計画調査報文」が、明治42年に提出された。早速、石狩川治水事務所が創設され、住民悲願の石狩川第

1期治水工事に着手。しかし、国の財政難から、工事はなかなか進まない。大正7年になり、第一次世界大戦後の好景気で、ようやく生振捷水



掘削機土取場線路移動作業。昭和3年頃(札幌河川事務所蔵)



土木遺産・生振捷水路(日本海から南東、札幌市街を望む)

ちの殉職碑)。治水神社と呼ばれた香取神社はその後、新水路左岸に遷された後、石狩八幡神社に合祀。戦前は治水神社祭と慰霊祭が盛大に厳粛に行われたという。慰霊祭は戦後も工事関係者等によって続けられた。そして昭和6年、14年という長い

長い歳月を要した生振捷水路がついに完成した。同44年には石狩川的全捷水路が完成し、石狩大橋地点(江別市)で水位を1・5m下げ、洪水は短時間で海に流れるようになり被害は激減、流域はわが国の一大穀倉地へと発展を遂げた。

生振捷水路は、2002年度、歴史的土木建造物の保存を目的とした「土木遺産」(土木学会選奨)に認

定された。今、生振捷水路ゆかりの地には、「石狩川治水発祥之地碑」と石狩八幡神社から移された「殉職碑」が建っている。
人知の限りを尽くした世紀の一步は、この地から上流へ向かって踏み出されたのだ。



始まりの地に建つ石狩川治水発祥之地碑。石狩川治水発祥之地碑と並んで建つ殉職碑。

(参考資料) (財)石狩川振興財団「石狩川流域発展の礎 治水」/ (財)石狩川振興財団川と人第22号 / 北海道開発局公式ホームページ「川づくりの歴史」/ 北海道開発局「石狩川治水史」

春 SPRING

3 MAR

サケ稚魚放流体験

3/1~5/31

千歳サケのふるさと館 ☎0123-42-3001 千歳市千歳川サーモンパーク

4 APR

4月中旬頃

大雪と石狩の自然を守る会 ☎0166-51-9972 旭川市石狩川秋月橋右岸広場
えにわ市民サケの会 ☎0123-34-1111 恵庭市漁川河川敷
幾春別川をよくする市民の会 ☎0126-23-4111 岩見沢市幾春別川西大橋左岸

5 MAY

5/4.5

札幌市豊平川さけ科学館 ☎011-582-7555 札幌市真駒内川河川敷

5/1~8月

石狩川クリーンアップ作戦 (財)石狩川振興財団 ☎011-242-2242 石狩川流域市町村各実施

6 JUN

夏 SUMMER

6月~8月

石狩川リバーセーリング 江別ヨットクラブ ☎011-386-4847 江別市石狩川新石狩大橋

6月中旬

幾春別川カップ・イン・三笠 三笠カヌークラブ ☎01267-6-7839 三笠市幾春別川

7 JUL

7月上旬 石狩川フェスティバル 旭川北商工会 ☎0166-57-2410 旭川市石狩川北旭川大橋右岸

7月中旬 石狩川下覧権川下り 同事務局 ☎0125-65-2341 深川市~砂川オアシスパーク~月形町

7月下旬 ラブリバー砂川 同実施本部 ☎0125-54-2121 砂川オアシスパーク

7月下旬 豊平川リバーフェスティバル 同実行委員会 調整中 札幌市豊平川幌平橋付近

7/21~31 森と湖に親しむ旬間 石狩川流域の各ダム それぞれのダムが水と森にふれあうイベント実施

7/29 サマースカイフェスタ (社)滝川スカイスポーツ振興協会 ☎0125-24-3255 たきかわスカイパーク

8 AUG

8月上旬頃 札幌市民レガッタ 茨戸川清流ルネッサンスII地域協議会他 ☎011-261-7951 茨戸川漕艇研修センター

8月下旬頃 川の調べコンサート 川の科学館 ☎0125-24-0989 滝川市川の科学館前庭

9 SEP

秋 AUTUMN

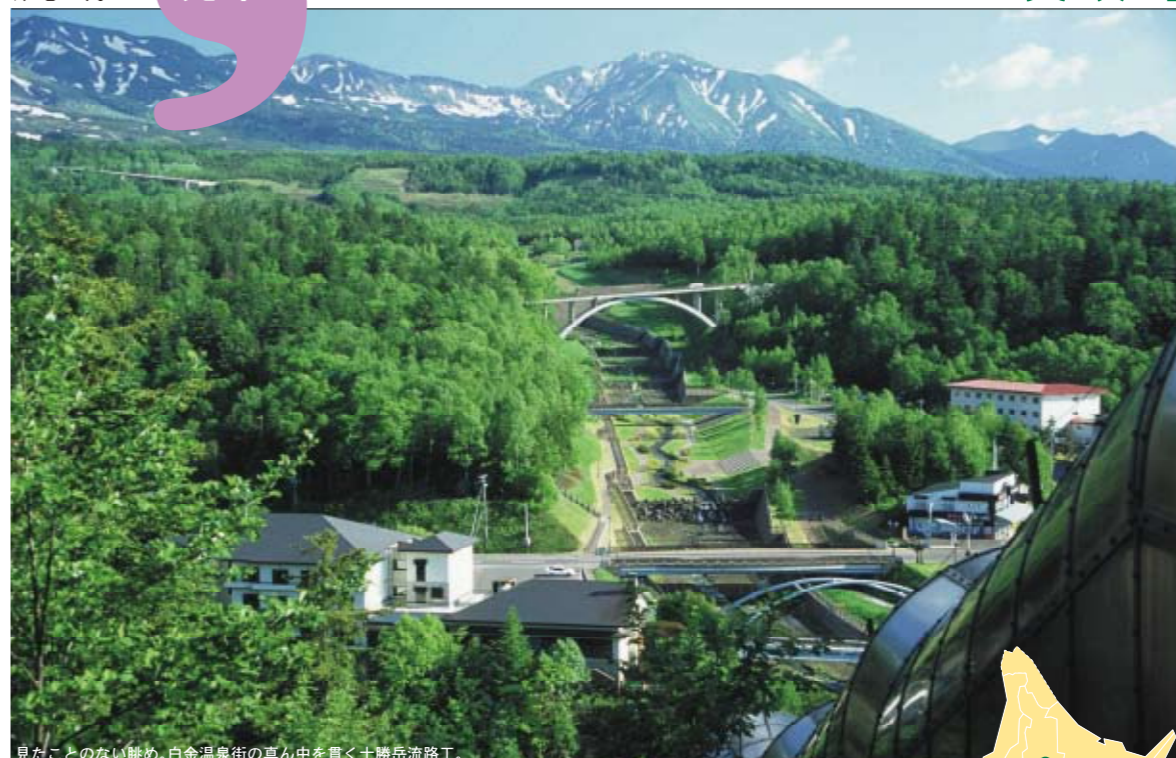
9月中旬 インディアン水車まつり 同実行委員会 ☎0123-23-4630 道の駅サーモンパーク千歳

石狩さけまつり 同実行委員会 ☎0133-62-4611 石狩市弁天歴史通り

※掲載情報は平成19年2月末のもので、変更になる場合もあります。

流域の 現在

美瑛町



見たことのない眺め。白金温泉街の真ん中を貫く十勝岳流路工。



溶岩の上を流れた地下水が流れ出る白髭の滝と、硫黄を多く含むブルーリバー美瑛川。



昭和63年噴火を機に有志等ではじまった那智・美瑛火祭り。

防災と観光が両立する
白金温泉・十勝岳流路工

活火山・十勝岳と生きる
年間110万人余りの観光客が訪れる丘のまち、美瑛。とりわけ高い人気を誇る観光地が、じつは大雪山国立公園内の白金温泉です。白金温泉は、活火山・十勝岳の噴火によって湧き出した温泉です。
約50万年前から活動する十勝岳は、十勝岳や美瑛岳・美瑛富士・オプタテシケ山など10個あまりの火山列をつくり、30〜40年周期で活動を続けています。このうち大正15年と昭和37年には尊い犠牲者を出し、以降、泥流発生域の白金温泉を中心に、ハードとソフト対策が進められています。全戸に配布した緊急避難図は、昭和63年の噴火時に効果を発揮し、全国でハザードマップがつけられる契機になりました。また、十勝岳噴火でもっとも懸念される融雪泥流発生を想定した「十勝岳噴火総合防災訓練」が行われるなど、非常の備えを強化しています。

官民学で
つくり上げた絶景

大正泥流の裸地に育った約4kmの日本一の白樺街道を抜け、温泉街に入ると、見た事のない景観にだれもが息を呑むことでしょう。
防災と観光の両立、自然と構造物との融合という、かつてないテーマを掲げ、専門家と地域住民、行政等が「景観検討委員会」にて、観光資源となる防災施設の検討を重ねました。
温泉街の真ん中を貫く、泥流を安全に流すための十勝岳流路工には、散策路やせせらぎ水路を。また、白金温泉北側の、十勝岳を監視しつつ最前線の対策本部と避難場所になる「十勝岳火山砂防情報センター」は、山岳リゾートの趣ある外観に、空中に延びるような避難路・避難階段は、宇宙都市“にたとえられるほどです。
白金温泉の観光客は、平成17年度には42万人余りに上ります。美瑛の名を一躍世に広めた写真家・故前田真三フォトギャラリー「拓真館」の入館者を平成13年度に上回り、観光地・美瑛の中で一番の集客地になりました。
白金温泉は一変したのです。

DATA

- ◎ 那智・美瑛火祭り / 7月下旬
- ◎ 白金温泉 / 上川郡美瑛町白金
- ◎ 十勝岳火山砂防情報センター / 上川郡美瑛町白金
tel.0166-94-3301 開館 AM10:00~PM4:00 入場無料
※毎週火曜、年末・年始休館



一般開放され、噴火や火山砂防などを楽しく学ぶ、十勝岳火山砂防情報センター。

私は、2004年から現在まで約3年にわたり、スコットランドにて日本について知ってもらう広報文化活動に従事しています（領事館の管轄は、スコットランド全域と北イングランドです）。

一般的に当地の対日関心は低く、日本関連イベントで日本に関心を持つ人と出会うとうれしい反面、日本人ほどの程度スコットランドを知っているのか気になることです。

2005年には、グレンイーグルスが先進国首脳会議の開催地になったので、日本でもスコットランドの様子が映されたのではと想像しますが、なんとと言ってもグラスゴーを本拠地とするサッカークラブ「セルティック」に中村俊輔選手が移籍して、露出が増えたことでしょうか。とは言っても日本から遠く離れた国ですので、日本人がイメージできるスコットランドは限られます。

じつは、スコットランドは日本と歴史的なつながりが深い国で、「蛍の光」や信号を横断する際に流れている「麦畑」等のスコットランド民謡や、明治期にお雇い外国人として日本に近代的な灯台を建設したR・H・ブランドン、日本近代水道の父といわれるW・K・バートンなどはスコットランド人です。



唯一の釣果。小さなトラウトを釣り上げてうれしそうにしている姿が恥ずかしい……

スコットランド釣り事情

スコットランドはゴルフと並んで釣りが盛んで、ネス湖までの道中、釣り人を目にしますが、寄り道して試し釣りという訳にはいきません。スコットランドのほとんどの河川が私有地を流れ、釣り場の持ち主に料金を支払わなければならないシステムとなっています。この料金、千円単位から数万円まであり、良く釣れるのは数万円です。私が行った2回の釣りは千円から2千円の釣り場ですので、わずかに1匹という釣果は、腕ではなく釣り場の問題です（と思うようにしています）。

運転は性格を変える

インバネスの市街から20kmほど南下してネス湖へ向かいます。ネス湖沿いはカーブも多い細い一般道で運転を誤るとネス湖に落ちてしまいますので、とても私は60マイルで走ることができませんが、こちらの人は構わず猛スピードで走っていきます。すれ違う時も、まず減速しません。それにしても、生活のペースが非常にスローな人柄であるにも拘わらず、運転の急ぎようといったら何なのでしょう。



スコットランド紀行

ネッシーを探索に行く

在エディンバラ総領事館
領事 堀田 伸之



センター脇にあるネッシー像

ネッシーを探索に、いざハイランドへ

スコットランドと言えば、ウイスキー、ゴルフ、バグパイプ。しかし、ウイスキーが苦手なゴルファーには、やはり私が見つ先に思い浮かべるのは、やはりネッシー。という訳で、車を手に入れた直後にネス湖へ出かけてみました。



バグパイプとキルト。スターリング城で行われていた結婚式の演奏

夏季限定 ドライブに適した環境

ネス湖を訪れるには、まずエディンバラ市から約260km北上し、インバネスという街に行きますが、遠距離の観光地でも夏の日の長さもあって（夜11時頃まで明るい）大抵のところは日帰りで行くことができます。逆に、冬季は午後3時を過ぎると暗くなるので、郊外の観光施設の多くが閉鎖され、出かけるのがなくなってしまいます。

どことなく北海道に似た ローランド地方

スコットランドは地形的、文化的に南部のローランド地方と北部のハイランド地方に区分されます。ローランド地方は、なだらかな丘陵地帯が続き、春には菜の花畑により丘陵地帯に黄色いパッチワークが形成され、美瑛のような美しい景色が広がります。この地方は、牧草地帯が広がり、どことなく北海道の景色に似ています。



ローランド地方の一風景

史跡が数多く残る スコットランド

ローランド地方を抜けてハイランド地方に入ると、これぞスコットランド“というような風景に変わります。ハイランド地方は厳しい気候のため、道路沿いは灌木中心で荒涼とした風景が広がり、高地には数百年前に朽ち果てて廃墟となった古城を見ることが出来ます。スコットランドには古城が多く残されており、廃墟を含めるとその数なんと1500以上と言われています。多くの城が一般に公開され、状態の良い古城は結婚式会場としても利用されています。古城の他にも教会、大聖堂などの史跡が保存されています。廃墟に関しては、完全に取り壊し、跡地利用を考えても良さそうなものですが、こちらの人は必要に迫るまで動こうとしないのか、結果として価値ある史跡が残ることとなっているのには感心させられます。しかし、この性格、仕事や生活の上では度々困った状況を引き起こします。とにかく、返答、提出、手続きなどの作業をつねに相手に促さねば事が進まないのです。



エディンバラのシンボル、エディンバラ城。この様な晴天は、スコットランドでは珍しい

ネス湖到着

ネス湖は長さ約35km、幅約2kmの細長い淡水湖で、ピジターセンターの資料によると、じつは魚類などの生物があまり生息せず、とても巨大生物が生息できる環境にはないそうです。当然、実物は存在しませんが、やはりあります、ネッシー像が！センター脇にある小さな池の中に浮かぶネッシー像ですが、どことなく屈斜路湖畔の土産物屋にあったクッシー像を彷彿させる出来栄です。

スコットランドは、美しい自然と建造物に満ち溢れた素晴らしい国です。英国旅行を計画されている方がおりましたら、ロンドン、湖水地方などの定番の観光地などで終わらせることなく、ぜひスコットランドまで足を伸ばしてみてください。写真では伝わらないスコットランドの素晴らしさを感じることが出来ます。



Scotland

首都エディンバラの西に位置するスターリングの町を流れるフォース川

北海道開発局

第6回 北海道・川の日ワークショップ in 旭川

川のまち旭川で「いい川づくり」を考えよう!

開催日

2007年 6月2日(土) 3日(日)

川の日ワークショップin旭川

全国では日本の川を「いい川」にしようとするさまざまな活動や事業が行われています。しかしながら、「いい川」とは何か、川の管理や整備する立場、その川とつねに関わり続ける住民などの立場によって思いやイメージは違います。

川の日ワークショップでは、住民(団体)や行政がそれぞれ関わっている川や水辺に関する取り組みの具体例を自由な表現方法で発表し、公開選考会を行いながら、私達や地域にとっかかりがえのない「いい川」「いい川づくり」とは何かを自由に柔軟に探り、相互に交流しようとするものです。

北海道・川の日ワークショップは今年で6回目を迎え、現在までに札幌市、帯広市、蘭越町、釧路市、むかわ町の各市町で順次開催され、今大会を旭川市で行うこととなりました。

募集期間

発表者の募集期間は平成19年3月19日(月)から平成19年4月20日(金)までです。

発表テーマ

発表テーマは次の3つに分かれますので、該当するテーマを選んでください。

A いい川づくり部門：官民を問わず、河川環境の創出に向けた整備もしくは保全に取り組んでいる活動等(調査・研究・実践等)が対象。

B 川での協働部門：官民が協働して河川環境の保全もしくは創出に取り組んでいる活動や、官民が協働して取り組んでいる防災(特に水防)が対象教育や体験学習等を行っているものすべてが対象。

公開選考会の開催

期間は6月2日(土) 14:00~16:30、6月3日(日) 9:00~11:30で、旭川勤労者福祉会館において開催されます。

ワークショップでは公募されたさまざまな取り組みの発表を「公開選考」という方法で評価し合います。公開選考のプロセスは、1次選考(部門別に発表・選考)、復活選考、2

次選考(全体会場で発表・選考)となっています。この過程で「いい川づくり」について参加者とともに議論を深めていきます。

発表形式

一件につき発表時間は3分と限られているので(他に質疑5分)、応募者は自由な表現方法で発表、アピールしてください。日頃の取り組みを発表すること、意見交換、参加者との交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかんでください。

選考方法

実行委員会から選ばれた選考委員(市民、行政、学識者など)が中心となって、さまざまな視点から総合的に評価しますが選考を通じて「いい川」「いい川づくり」の新たな視点や理解を深めることがワークショップの大きな目的の一つです。

選考は、おおよそ次の4つの視点で行います。

- A 発想・着眼評価：「いい川」を目指すための斬新で的確な発想や着眼点についての評価。
- B 関わり評価：地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価。
- C 計画・技術評価：川らしさの保全や、「いい川」回復のために工夫された計画手法や採用技術についての評価。
- D プロセス評価：「いい川」を育むための市民・住民参加や、さまざまな分野の人達との協働のプロセスについての評価。

なお、選考は優劣を決めるものではありません。二日間を通して合意、

1次選考 6月2日 14:00~16:30
場所 旭川勤労者福祉会館小会議室A・B・C
参加者は、応募された部門毎に3つの発表会場へ分かれて、各部門毎に発表と選考を行います。各部門から2団体を選考し、2次選考で発表していただきます。

復活選考 6月3日 9:00~9:30
場所 旭川勤労者福祉会館(大会議室)
1次選考で惜しくも漏れた団体に対し、選考委員全員でフロア1審査を行ない、団体程度復活させ、2次選考へ推薦します。

2次選考 6月3日 9:30~11:30
場所 旭川勤労者福祉会館(大会議室)
1次選考を通過した団体及び復活選考で選ばれた団体に、全体会場で発表していただき、グランプリ等を選考します。

の深まり、育み合いのまとめとしてグランプリや入賞を選び出し、ワークショップの成果を称え合います。

表彰

発表団体等へは、選考委員からの提案により、実行委員会が次のとおり表彰します。

- 第1位(グランプリ) 完成度が高く、他の模範となるもの
 - 第2位(準グランプリ) もう少しの努力や工夫で完成度が高まるもの
 - 特別賞 継続して活動すれば将来に期待が持てるもの
 - 特別賞 活動に工夫が見られるもの
 - 特別賞 元々や元気があがるもの
 - 特別賞 大いに感動を与えたもの
- なお、優秀な発表については毎年8月に開催される全国川の日ワークショップに推薦させていただきます。

その他

記念講演や交流会等開催しますので、ぜひご参加ください。

《記念講演》

6月2日(土) 13:00~13:50
○講師：旭山動物園園長 小菅 正夫氏
○場所：旭川勤労者福祉会館 大会議室 ※聴講無料

《交流会》

6月2日(土) 18:00~20:00
○場所：旭川商工会議所 2F大ホール
※会費1人分:大人3,000円
高校生以下1,500円 参加者のみ

《エクスカーション》

6月3日(日) 閉会後12:00から3時間程度
※コースにより変動有、有料(昼食お弁当)

Aコース 北海道遺産「石狩川」と「旭橋」を巡る散策コース



Bコース 「西神楽ホテルの里」と「外国樹種見本林」ふれあい散策コース



Cコース 旭山動物園コース



Dコース 米どころ永山周遊体験コース



くわしい内容は、運営事務局までお問い合わせください。

会場
旭川勤労者福祉会館 (旭川市6条通4丁目) (電話) 0166-23-5577
交流会 会場
旭川商工会議所 (旭川市常盤通1丁目) (電話) 0166-22-8411



「第6回北海道・川の日ワークショップin旭川」実行委員会 運営事務局
〒070-0044 旭川市常盤公園 石狩川治水学習館内
電話 0166-23-8417 FAX 0166-23-8417 mail: a-kasen@potato10.hokkai.net
お問い合わせ
ホームページ <http://www.kawanohi2007.com>

- 主催：第6回北海道・川の日ワークショップin旭川 実行委員会
NPO法人 水と緑のふるさと永山を育てる会、NPO法人 水環境北海道、NPO法人 天塩川リバーネット21、NPO法人 旭川NPOサポートセンター、NPO法人 グラウンドワーク西神楽、クリーン・リバー「あさひかわ」、あさひばし子どもの水辺協議会、ながやま子どもの水辺協議会、旭川市西神楽ホテルの会、大雪ダム水源地域ビジョンコンピュータ大雪、岩尾内ダム水源地域ビジョンasovi
- 共催：旭川市、北海道旭川土木現業所、国土交通省北海道開発局 旭川開発建設部
- 後援：【行政】鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、旭川市教育委員会、北海道教育庁 上川教育局
【法人・団体】財北海道河川防災研究センター、財北海道建設技術センター、財河川環境管理財団、財石狩川振興財団、財旭川河川環境整備財団、財旭川青年会議所
【報道機関】NHK旭川放送局、HBC旭川放送局、STV旭川放送局、HTB旭川支社、TVH旭川支局、UHB旭川支社、旭川ケーブルテレビ、FMリバー、北海道新聞旭川支社、朝日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、北海道建設新聞社、北海道通信社、名寄新聞社、北都新聞社、道北日報社、北のまち新聞社(あさひかわ新聞)
- 協賛：旭川建設業協会、上川調査設計協会、旭川商工会議所

北海道開発局 石狩川開発建設部

北海道開発局は、平成16年度から「地域協働プロジェクト」を継続実施しています。このプロジェクトは、社会資本整備はもとより、既存の施設や知恵・経験・技術などを結集し、地域の人々と活気にあふれた住み良い北海道を築いていくというものです。
石狩川流域で地域の皆さんと進めている、取り組みを紹介します。



茨戸川の水環境改善の取り組み(札幌市民レガッタ)。

川づくり・まちづくりを地域とともに 地域協働プロジェクトの推進

住民参加によるみどり豊かな地域づくりを支援

恵庭市
岩見沢市

地域と連携した河畔林の創出の推進

石狩川流域の首長が集い、自然と人間の共生を謳う「石狩川サミット」で採択され、流域で進められている石狩川流域一人一本300万本植樹運動。冬は、北海道らしい雪中植樹を継続実施しています。

千歳川流域では、「リバーズスクール千歳川かわ塾」のメニューとして漁川河川敷地に植樹。子供達は雪の働きや緑の大切さを学びます。旧美唄川流域では、植樹をしながらスノーモービル体験や地元産のお米を使った昼食会など、地域連携が図られています。石狩川開発建設部では苗木を提供し、植樹の講習会を協働開催するなど、身近な緑に対する関心を高める活動を地域とともに進めています。



家族で楽しみながら参加する旧美唄川雪中植樹。

石狩市

石狩川河口を活かした拠点整備

石狩川河口は、全国で河口の自然が失われる中、優れた自然景観を誇ります。この財産を守ろうと、市では河口を保護地区や都市公園に指定し、市民団体が精力的に調査や保護活動に取り組んでいます。海浜植物が自生するハマナスの丘公園は、石狩市が全体の整備を、石狩川開発建設部はアクセス道路を整備します。地域の人々の清掃活動で美観を保ち、TVを設置して「今日の夕日」の画像を発信する予定です。ミスパシヨウ群生地は石狩川の貴重な自然環境です。石狩川開発建設部が整備する管理用通路により、地域の人々が保全・観察できるようになります。また管理は石狩市と協働で実施します。



ミスパシヨウを保全・観察できるようになります。

海浜植物が自生するハマナスの丘公園。

まちづくりと一体となった 水と緑のネットワーク

札幌市
石狩市

茨戸川は、過去に周辺都市部の発展にともない、生活排水等の流入で水質が悪化しました。
このため学識経験者やNPO、地域の方々などによる「茨戸川清流ルネッサンスII地域協議会」を設立し、総合的な水質・水量等の改善施策を進めています。流域での水環境保全の取り組みを進め、浄化用水(維持用水)を、創成川ルート・雁来ルート・石狩川ルートより茨戸川への導水によって、水質の環境基準値3mg/l以下の達成を目指します。これにより札幌市北部の河川と茨戸川の水環境改善が期待できます。



茨戸川の水環境改善の取り組み(茨戸川探検隊)。

南富良野町

ダム大好きプロジェクト

水源地域の活性化とダムのイメージアップ

冬の北海道では、雪や氷を活かしたイベントが盛んに行われています。金山ダム水源地域ビジョン推進連絡会「カナダム」は、結氷した湖面を活かしたイベントを平成17年に主催。平成18年には「第1回かなやま湖水上げかんす」と題し、南富良野町商工会青年部が主催し、地域連携の冬まつりに定着しつつあります。今年度も、名物のアラスカ野球や犬ぞり体験、スノーシューで湖面を散策するカナダム開創「氷上ウォーキング」などを提供し、冬のかなやま湖の魅力を発信！札幌や旭川からの来場者も増えています。石狩川開発建設部では、冬のダム湖を活かした水源地の冬の活性化策を支援します。



打つと3塁に走り、飲食物を完食しなければベースを踏めないアラスカ野球。

カナダム開催の氷上ウォーキング。湖上をフィールドに冬探検！

水環境保全の取り組み 茨戸川

茨戸川

市民に親しまれる水辺を 取り戻す協働事業。 ゴミ拾いから始まる環境保全

茨戸川の水質向上のための流域住民と連携したソフト面の対策も進めています。札幌市民レガッタ、茨戸川探検隊、茨戸川植樹、茨戸川ワークショップなど、多くの機関から理解と協力を得て、強い連携とネットワークが図られています。

2月には、NPO法人茨戸川市民環境フォーラム、NPO法人カラカネイトトンボを守る会、石狩湾漁業協同組合、江別漁業協同組合、関係自治体と「クリーンアップ茨戸川2007」を開催。ワカサギ釣り最盛期に、ゴミが引き起こす茨戸川の水環境問題に関するチラシとゴミ持ち帰り袋を釣り人に配付して、参加者と意見交換しました。

NPO・漁業者、学校関係者など21の関連団体および市民が集った茨戸川ワークショップ。



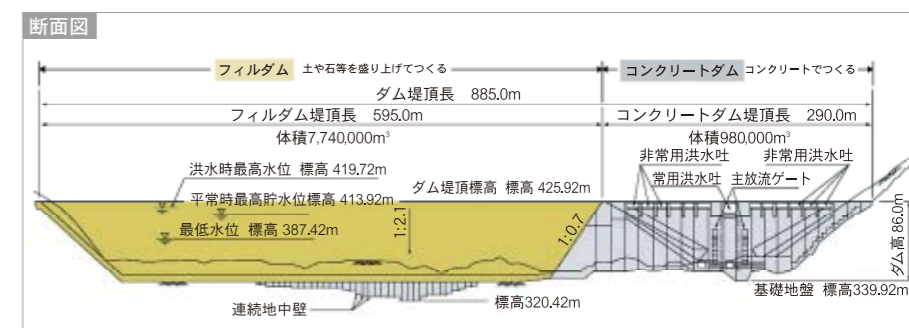
水環境の保全を訴えたクリーンアップ茨戸川。

北海道開発局 旭川開発建設部

1 忠別ダムの概要 安全で安心な 生活のために

忠別ダムは、北海道の中央部、大雪山連峰の西麓に位置し、石狩川水系忠別川の上流に建設された、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい及び水道用水の補給、発電を目的とした多目的ダムです。

忠別川は大雪山連峰白雲岳を源に羽衣伝説の天人峽を流下し、旭川市内で北海道第一の河川である石狩川と合流する幹川流路延長59・2km、流域面積1066・0km²の一級河川です。忠別川流域は水田地帯が広がり上川穀倉地帯の一翼を担っているほか、旭川市は北海道第2位の人口を有し、商工業、農業など道北の拠点都市となっていますが、洪水により度々被害を受けるとともに深刻な農業用水不足に見舞われ、忠別ダムの建設が必要不可欠となっております。



複合ダムでは日本最大の自然にやさしい、畜く澄みわたる忠別湖。



このような背景の中、皆様のご理解とご協力のおかげで忠別ダムの建設が進み、平成18年3月には試験湛水を開始し、平成18年11月にはダムで計画した最高の水位であるサーチャージ水位に到達し、平成19年1月に最低水位まで水位を低下させて、忠別ダムがダムとしての機能を完全に発揮できることを確認しました。

試験湛水によりダムとしての機能を完全に発揮できることを確認。



旭岳や大雪山連峰が水面に映り込む。東川町「写真甲子園」の題材に。

大雪山連峰に 忠別湖が誕生

2 忠別ダムの特長
周辺環境にやさしい
エコロジーダム

忠別ダムは左岸側と右岸側の岩盤の強さが違いがあり、強い岩盤の左岸側はコンクリートダム、左岸側に比べて弱い岩盤の右岸側は土や石で作るフィルダムとしました。このように異なったタイプのダムを組み合わせることで複合ダムといえます。

忠別ダムの規模のうち、フィルダムの料は、全てダムができた時に忠別湖の下になる忠別川の中からとっています。そのため、周辺の山を削る事がなく、自然環境へ与える影響を小さくすることができました。

3 自然環境や景観が産み出す活動 大雪山連峰の 新たな景観を創出

忠別ダムができることで現れた「忠別湖」は、大雪山連峰から流れ出す忠別川の清らかな水が貯まっているために水面が青く澄んでおり、背後にそびえる旭岳や大雪山連峰が水面に映り込むことで神々しく壮大な景観を産み出しています。

忠別ダムの周囲には大雪山連峰はもちろんのこと、全国的に有名な旭山動物園や名湯旭岳温泉、天人峽温泉などがあることから、旭川地方を訪れる人々に壮大な自然環境や景観を体感して



水が貯まる底の部分が砂利を採取した跡です。

いただけることと思います。

また、昨年は写真の町・東川町主催のフォトコンテストや写真甲子園の題材として忠別ダムが使用されるなど大盛況でした。

忠別川沿いの地元住民の参加によって忠別ダムを地域の財産として活用しようという「忠別ダム水源地域ビジョン」など、地元住民参加型の活動も盛んに行われています。

忠別ダム水源地域ビジョンに参加しませんか！

(お問い合わせ)
北海道開発局旭川開発建設部 忠別ダム管理所
忠別ダム水源地域ビジョン事務局
○本部 ☎0166-32-1111 ○ダム管理所 ☎0166-82-5391

北海道

「川づくりのための河畔林ガイド」の発刊（前編）

北海道の川づくりの役立ち— 河畔林の機能と保全の手引き

北海道では、平成9年度に河川工学や魚類・植生等の専門家で構成する「北海道河川環境研究会」を設置し、これまで治水と河川環境に関する技術的課題について検討を重ねてきました。平成13年には、第一段階の研究成果として、北海道の代表的な魚類であるサクラマス・スナヤツメ・カンキョウカジカ等の淡水魚の生活史や、産卵・生息環境についてまとめた「川づくりのための魚類ガイド」を発刊しています。第二段階として、平成13年より魚類の生息環境と関わりが深い「河畔林」について、北海道を代表するエゾヤナギ、ハルニレ等の生育分布や生活史、河畔林の保全の考え方を今年度まとめることができました。発刊作業もほぼ完了しましたので、今回は、第1章の河畔林の種類とはたらき等を中心に紹介します。

◎河畔林とは

河畔林には、溪畔林・河畔林・湿地林があり、成立する立地環境から区別されることがありますが、本書では、これらを総称して「河畔林」としています。図1は、河畔林の分布を河川の縦横断的な立地区分を地形との関わりから表現しました。この図を用いるとどの部分の位置に立って河畔林を見ているかが、一目で分かります。

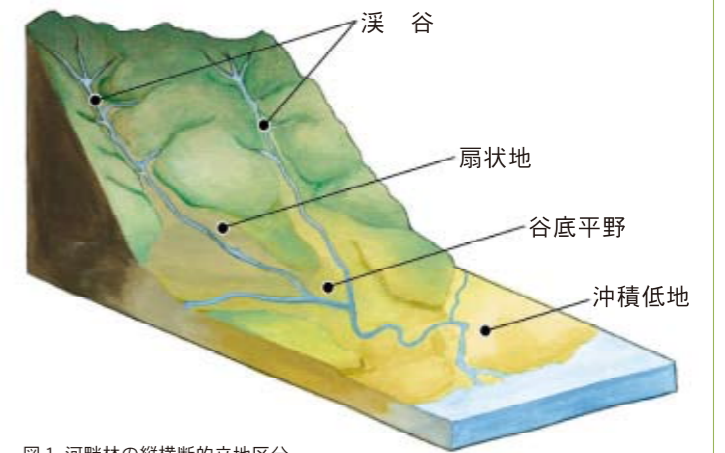
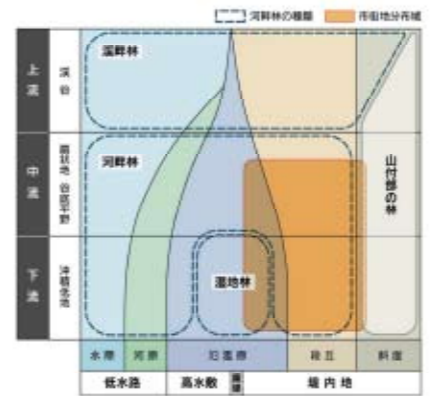


図1 河畔林の縦横断的な立地区分

◎河畔林のはたらき

○生物・生態的なはたらきがある

河畔林は、水辺に生息・生育する動植物にとって特に重要な役割を果たしています。

- 日射遮断
 - 落葉・落枝、落下昆虫の供給
 - 倒木供給
 - 栄養塩類の除去や水質の保持
 - 野生動物の生息場所
- これらのはたらきと魚類の生息環境の関わりを示しました(図2)。

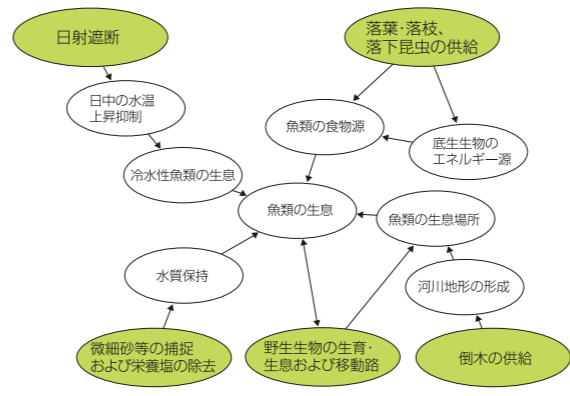


図2 河畔林の生物・生態的機能の関連概念図



図2-1 河畔林による緩衝帯イメージ



写真1 河畔林の繁茂による流下能力の低下

○河川防災上のはたらきがある

治水上においては、河畔林の流木化や流下能力の低下(写真1)、流下物捕捉による水位の上昇等を起こすことでもあります。河川防災上のはたらきも持ち合わせています。



写真2 高門別川(平成15年 台風10号)

これは河畔林が流速を緩和させ、護岸の崩壊を防ぎ、護岸ブロックによる河畔林の根系の保護により、河畔林の流木化を防げたと想定できます(図3)。

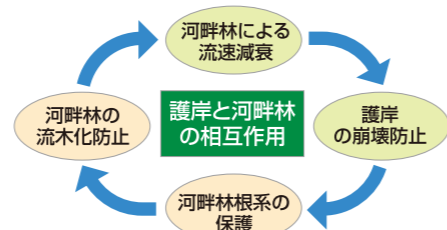


図3 護岸と河畔林の相互作用

◎代表する河畔林の特徴・立地条件

北海道を代表する河畔林19種について、全道における分布状況、河川の縦

横断方向の生育立地、葉形や幹の特徴を紹介しています(図4)。

ハンノキ

【ヤチハンノキ】
カバノキ科 Alnus japonica Steud.

- 形態
 - 樹高: 15~25m、時に30mに達する。
 - 胸高直径: 40~50cm、時に90cmに達する。
 - 幹の形状: 単幹~多幹。
 - 根系形状: 浅根性で広がり中程度、根に根粒菌をもつ。
 - 簡易識別: 葉形が卵状長楕円形、長さ5~13cm、不整鋸歯縁、互生する。
- 性質
 - 成長速度: 速い。湿原性のもので35年で断面直径4~13cm程度になる。
 - 萌芽再生: 萌芽力ある。伐採後すぐに萌芽を展開する。
 - 寿命: 70~100年。
 - 遷移段階: 先駆性



■河川縦断方向の生育立地

○沖積低地で優占性が高い。



道内分布

全道に分布する

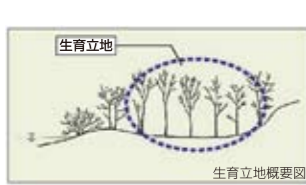


【ハンノキ】

湿地林を代表する樹種。肥沃な湿地の周辺域ではときに樹高30mを超えるほどに成長し、周辺に特徴的なミズバショウの群落をしばしば形成する。北海道網走湖畔女満別の雄大な群落は天然記念物にも指定されている。

■河川横断方向の生育立地

○水面比高1m未満で優占性が高い。



■生活史

- 開花: 雌雄同株、4月に葉が開く前に開花する。
- 開葉: 5月上旬開葉開始→10月下旬落葉終了(順次開葉・落葉する)。
- 結実: 9~10月に成熟する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期												
開 葉												
結 実・種子												

図4 河畔林樹種特性解説(ハンノキ)

また、ここではスペースの関係で紹介できませんが、野外で樹木を調べるとき、葉形などの特徴から判別できる簡易な検索表も作成してみました。以上のように、「川づくりのための河畔林ガイド」第1章では、代表的な河畔林の分布や性質等について、イラストや写真を交え構成し、図鑑のように身近な内容となるよう工夫しています。

次号(後編)は、「第2章 河畔林の保全」について紹介します。【川づくりのための河畔林ガイド】●発刊5月上旬予定

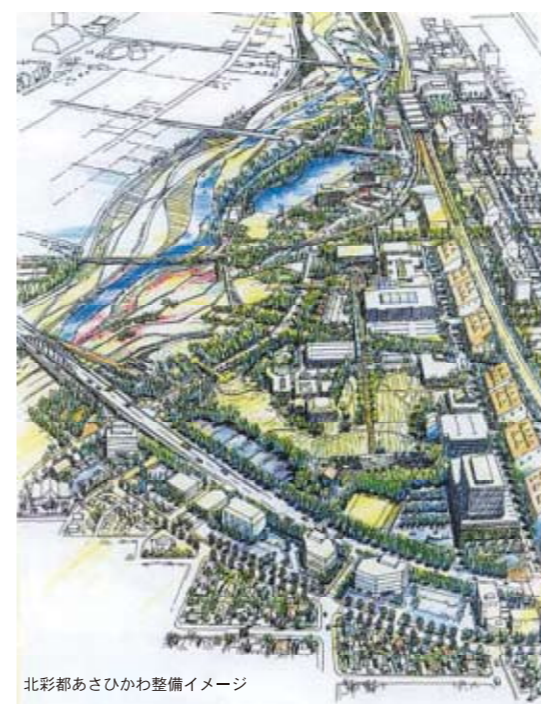
石狩川振興財団の活動報告

旭川市

北彩都あさひかわ 水と緑あふれる都心のオアシス

【北彩都あさひかわとは?】
現在、旭川市では、豊かな自然と都市機能が調和する暮らしやすいまちを目指して、JR旭川駅周辺において、北彩都あさひかわ事業を進めています。鉄道高架や土地

区画整理事業により利用可能となる約86haの土地を活用し、旭川駅裏の忠別川などの豊かな自然を生かし、「自然」と「まち」が調和する緑豊かな新しい「旭川の顔」を作り出す事業です。平成8年から整備を始め、事業全体が完了するのは、平成26年



北彩都あさひかわ整備イメージ

度の予定ですが、科学館「サイバル」や障害者福祉センター「おびつた」が完成するなど、徐々に全体像が見えつつあります。

【新しい旭川駅】
平成22年秋に完成する新しい旭川駅は、現在の位置から約70m川寄りに移動し、「川に接する駅」となります。外観も、自然に溶け込むようなシンプルで、川への透透性が高まるよう配慮しています。駅と川の豊かな自然が調和した駅は、全国的にも珍しく、「川のまち・旭川」の個性を生かした、まちのシンボリックな存在に生まれ変わります。



川に接する新しい旭川駅のイメージ

「新しい旭川駅のかたち」の基本的な考え方

- まちのシンボルとなる駅
川のまち旭川を象徴するような、旭川らしい個性的な駅
- 人にやさしい駅
健常者、障害者を問わず、だれにでもやさしい駅
- デザインが消費されない駅
構造がそのままデザインとなることで、年月が経過しても色あせない駅
- 積雪寒冷地の駅
北国において、スタンダードとなるような全天候型の覆いを持つ駅
- 都市と川(自然)をつなぐ駅
豊かな自然を有する忠別川と繁華街の賑わいとを結ぶ駅

トピックス

平成17年7月に、北彩都あさひかわシビックコア地区にオープンした旭川市科学館「サイバル」。「北国」「地球」「宇宙」をテーマにした展示スペースや各種実験室・学習室。プラネタリウムや天文台を収容しています。そして敷地内には、鳥や昆虫などが観察できる自然観察空間を設け、近隣の神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、伸び伸びとした空間で自然科学をはじめとするさまざまな科学を学ぶことができます。



石狩川あおぞら大学 石狩川市民活動連携ワークショップ

平成19年1月27日(土)

石狩川流域の各地域では、川をフィールドに市民団体が活発に活動しています。「石狩川あおぞら大学」は、市民団体が一堂に集い、活動を報告したり、情報を交換する場です。

今回は3団体の活動報告と舟運について情報交換しました。イギリスのナローボート体験や、昨秋行われた屋形船風の船を使った「千歳川舟運観光社会実験」の報告です。とくに社会実験のアンケートでは、乗船モニターの85%が「内容に満足した」という結果が。舟運観光を実現するための法整備等について、北海道運輸局から説明を受け、定期観光航路という大きな夢を、参加者全員が共有しました。忌憚のない会話を持つことが、流域連携には大切だと確信したひとときでした。



運河を運航するよう作られたナローボート。

北海道運輸局からは全国舟運事例の説明も。

60名収容の会場がアツという間に満員御礼。

平成19年6月2日(土) 3日(日)開催 第6回北海道・川の日 ワークショップ旭川 参加者募集!

住民と行政が一緒に事例を発表し、審査員とのやりとり等でいい川を考え、優秀な発表を公開で選ぶワークショップ。日頃から川づくりに取り組む団体、個人の方の参加をお待ちしています。
事務局/0166-2318417
会場/旭川勤労者福祉会館
詳しくは13・14ページを参照ください。

第6期 北海道総合開発計画の点検と新たな計画の在り方 中間とりまとめに関するパブリックコメントの募集の結果について

北海道開発局 開発監理部開発計画課

北海道局では、平成18年10月16日(月)から12月1日(金)の期間をかけて広く国民の皆様からのご意見を募集(パブリックコメント)しました。意見募集の結果、1,062件のご意見が寄せられ、「第6期計画の点検と新たな計画の在り方報告書」をとりまとめました。今回の意見募集にあたり、ご協力いただきました方々へ厚く御礼申し上げます。

○ パブリックコメントの募集の結果についての詳細は、国土交通省ホームページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/pubcom/o6/kekka/pubcomk125_.html



編集後記

● 区切りとなる30号では舟運を特集しました。今後も「川と人」では、地域の輝きを再発見する舟運の取り組みを伝えていきます。

● 住民に重い負担を強いる火山は、一方で雄大な景観をつくり、温泉を湧出させます。白金温泉の価値を高めた十勝岳流路工。そして、一大穀倉地帯を築く礎となった生振捷水路。技術大国・日本の誇りといえます。

● 石狩川流域にまたひとつ、名勝地が誕生しました。忠別湖は、複合ダムでは日本最大で見ても鮮やかな美しさ。ぜひ足を運んでください。

● 北海道の風景に似ていると言われるスコットランドの川では、釣りは有料で、料金も違うのだそう。住んでみないとわからない堀田さんの紀行記でした。

